

勳章佩用心得

附敘勳者履歷屆出心得

賞勳局

特 別
114
D53



朕勲章佩用式ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御種

明治二十一年十一月十六日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆

勅令第七十六號 (官報十一月十七日)

勲章佩用式

第一條 大勲位菊花章

菊花章ハ頸飾ヲ以テ喉下ニ佩ヒ其副章ヲ左肋ニ佩フ大綬ヲ以テ佩フル時ハ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ハ左肋ニ佩フ

第二條 寶冠章

一 勲一等寶冠章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ
二 勲二等寶冠章以下ハ結蝶狀ノ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

第三條 旭日章

一 勲一等旭日桐花章並旭日章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ

二 勲二等旭日章ハ右肋ニ佩ヒ其副章ヲ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ

三 勲三等旭日章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ

四 勲四等勲五等勲六等旭日章勲七等勲八等桐葉章ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

明治二十二年
勅令第百八號ヲ以
テ但書追加

第四條 瑞寶章

- 一 勲一等瑞寶章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ
- 二 勲二等瑞寶章ハ右肋ニ佩フ
- 三 勲三等瑞寶章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
- 四 勲四等瑞寶章以下ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

第五條 列種ノ勲章ハ之ヲ併佩ス其大綬章ハ之ヲ併佩セス

朕金鷄勲章ノ等級製式佩用式ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月十一日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

勅令第十一號 (官報二月十一日)

金鷄勲章

功一級ヨリ功七級ニ至ル武功拔群ナル者ニ賜フ

(金鷄勲章製式略之)
金鷄勲章佩用式 (明治二十八年勅令第百二十號ヲ以テ改正)

- 一 功一級章ハ大綬ヲ以テ左肩ヨリ右脇ニ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ
- 二 功二級章ハ右肋ニ佩ヒ其副章ヲ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
- 三 功三級章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
- 四 功四級章以下ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

○賞勲局告示第一號

明治二十一年十一月十一日 勅令第七十六號勲章佩用式第三條第二項ニアル勲二等旭日章ノ副章ハ其製式勲三等旭日章ニ異ナルコトナシ

明治二十一年十一月十九日

賞勲局總裁伯爵柳原前光

○賞勲局告示第一號

勲章記章佩用心得

- 第一款 一等勲章ヲ有スル者更ニ列種ノ一等勲章ヲ受ケタル時ハ旭日桐花章ト旭日章トハ同種ナリ併佩スルコトナシ後ニ受ケタル一等勲章ノ正章竝ニ其副章ト前ニ受ケタル一等勲章ノ副章トヲ併佩スヘシ
- 第二款 二等以下ノ勲章ヲ有スル者更ニ同種上級ノ勲章ヲ受ケタル時ハ其下級ノ勲章ヲ佩フルコトヲ止ム列種ノ同級若クハ上級ノ勲章ヲ受ケタル時ハ之ヲ併佩スヘシ
- 第三款 二等勲章若クハ一等ノ副章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノ、位置ニ付テ其上位ニ列佩スヘシ
- 第四款 三等勲章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノ、位置ノ上ニ佩フヘシ
- 第五款 四等勲章以下兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケ

タルモノ、位置ノ右ニ佩ヒ其從軍記章若クハ褒章ヲ有スル者ハ之ヲ勲章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第六款 勲章ハ男子ハ大禮服及ヒ通常禮服(燕尾服)着用ノ時佩フヘシ從軍記章及ヒ褒章ヲ有スル者亦同シ

通常禮服用ノ時ハ大綬章ヲ上衣ノ下ニ佩ヒ其副章ヲ上衣ノ上ヘ其位置ニ佩フ又大綬章ヲ胸衣ノ下襟衣ノ上ニ佩ヒ副章ヲ上衣ノ上ヘ其位置ニ佩フルコトアリ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ其副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ

第七款 勲章ハ婦人ハ大中小禮服用ノ時佩フヘシ

一等勲章ヲ有スル者大禮服ニハ大綬章及ヒ副章ヲ佩フ中小禮服ニハ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ又通常禮服ニハ時宜ニ依リ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ

二等以下ノ勲章ヲ有スル者ハ通常禮服用ノ時ニ於テモ時宜ニ依リ之ヲ佩フルコトアルヘシ

外國勲章記章

第八款 外國勲章佩用方ハ各彼ノ規則ニ依ル

第九款 我勲章ヲ有スル者我勲章ヲ佩ヒスシテ彼ノ勲章ノミヲ佩フヘカラス第十款 彼我ノ大綬章ヲ有スル者ハ彼ノ大綬章ヲ佩ヒス之ニ屬スル副章ノミヲ我副章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

但外交ノ時宜ニ依リ彼ノ大綬章及ヒ其副章ヲ佩フル時ハ我大綬章ヲ省キ我副章ハ併佩スヘシ

第十一款 彼我ノ綬ヲ用ヒサル勲章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勲章ヲ我勲章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

第十二款 彼我ノ喉下ニ佩フル勲章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勲章ヲ我勲章ノ位置ノ下ニ佩フヘシ

第十三款 彼我ノ左肋ニ佩フル勲章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勲章ヲ我勲章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第十四款 彼ノ左肋ニ佩フル勲章ヲ我從軍記章及ヒ褒章ト併佩スル時ハ我從軍記章及ヒ褒章ヲ彼ノ勲章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第十五款 彼ノ記章ト我從軍記章及ヒ褒章ト併佩スル時ハ之ヲ我從軍記章及ヒ褒章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

明治二十二年二月七日

賞勳局總裁伯耆柳原前光

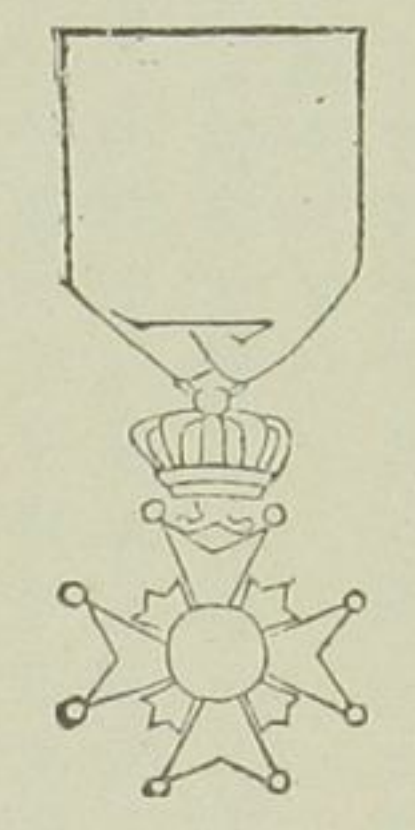
○賞勳局告示第二號

略章略綬佩用心得

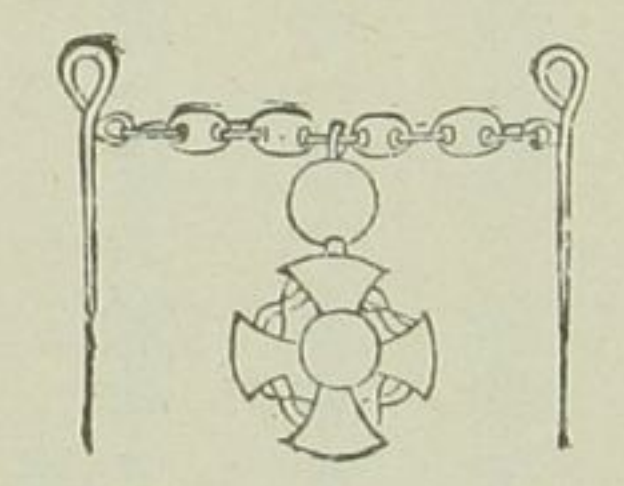
一 各種勲章ノ略章 凡ソ徑曲尺五六分若クハ其以下ノ大サニシテハ通常禮服用ノ時或ル場合ニ於テ連鎖或ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩用スルヲ得外國勲章ノ略章モ亦同シ

二 略綬ハ通常禮服通常服用ノ節左襟見込シノ鈕孔ニ掛ケ佩フヘシ
 略綬ハ別種二箇以上ノ勲章ヲ有スル者各其綬ト同色ナル絹ヲ以テ二箇若
 クハ數箇合併ノモノヲ製シ之ヲ佩用スルヲ得又内外數種ノ勲章ヲ有スル
 者ハ内外數箇合併ノ略綬ヲ製シ之ヲ佩用スルコトヲ得
 我略綬ヲ佩ヒテ外國ノ勲章ヲ佩フルコトナシ
 明治二十二年二月十二日
 賞勲局總裁伯爵柳原前光

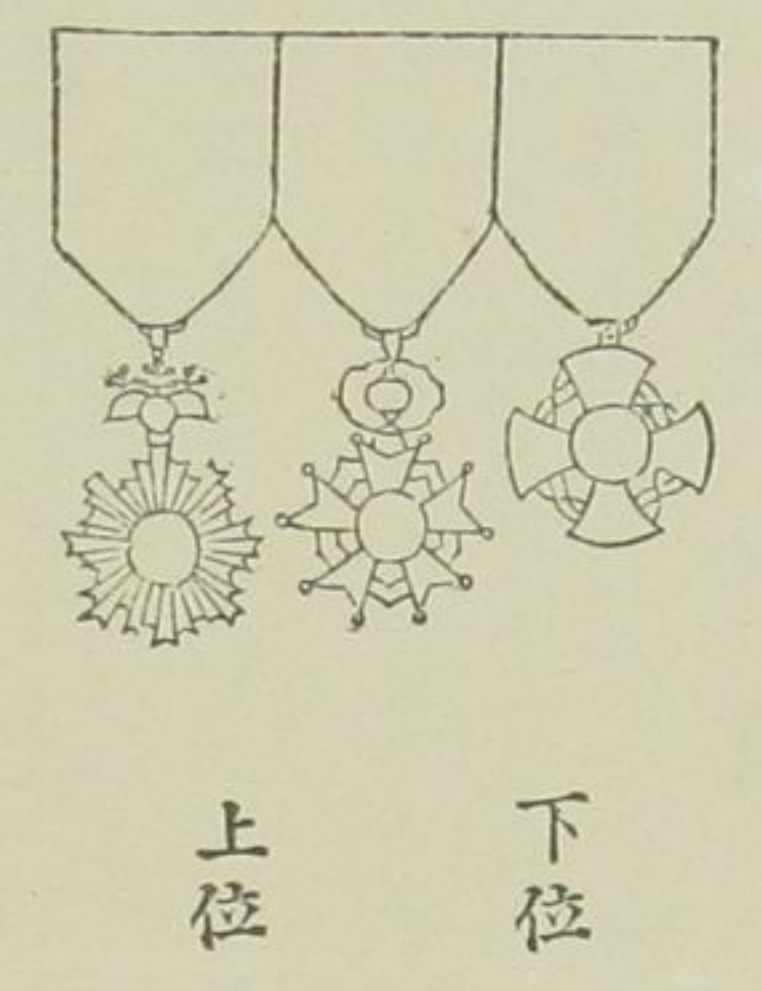
略章ヲ小綬ニテ佩フル圖



略章ヲ鏈鎖ニテ佩フル圖

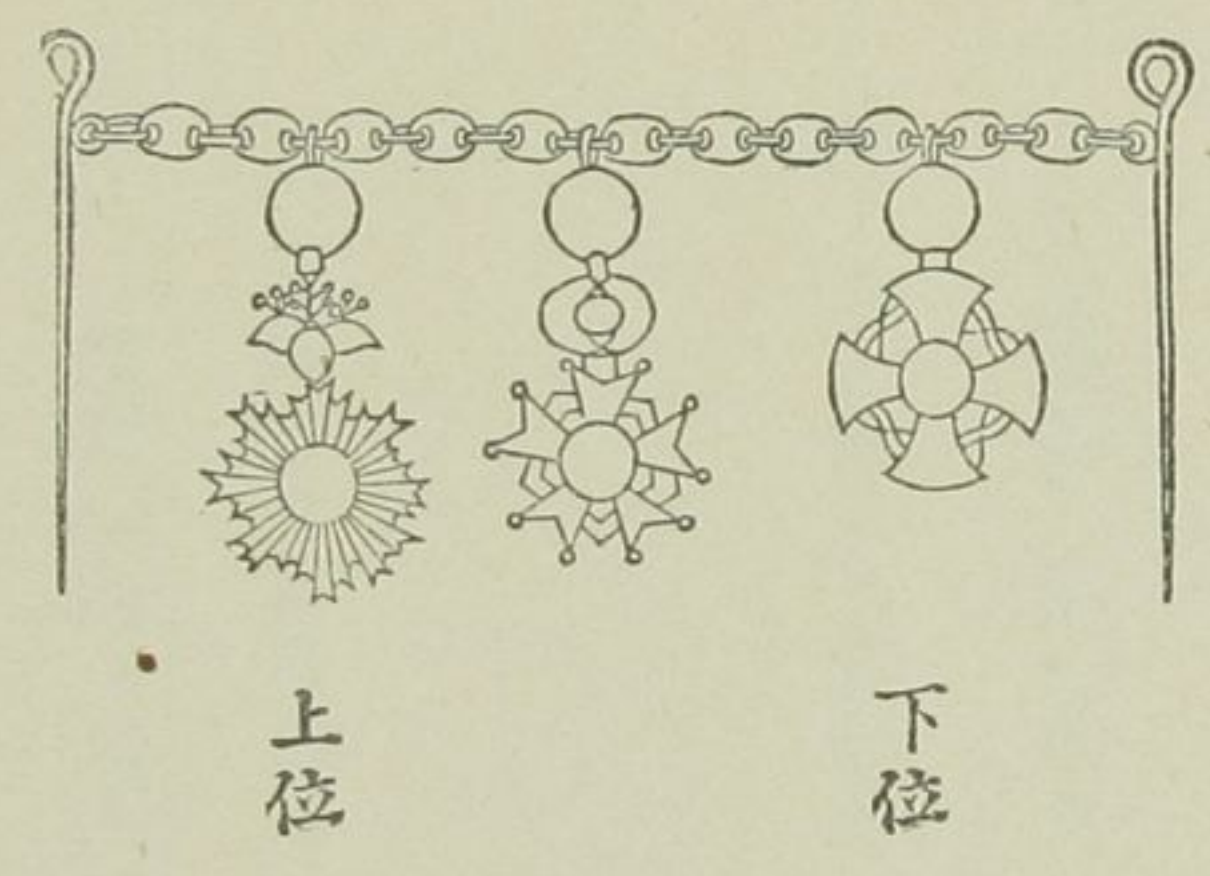


略章ヲ小綬ニテ聯佩スル圖



但上衣ノ左方ニ於テ胸ノ中心ニ近キ
 所ヲ上位トシ脇ニ近キ所ヲ下位トス

略章ヲ鏈鎖ニテ聯佩スル圖



二種以上ノ略綬ヲ合併シタル圖



朕勲章還納ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年三月二十一日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆

勅令第三十八號(官報三月二十二日)

勲等進叙シ同種ノ上級勲章ヲ受ケタル者ハ其下級ノ勲章ヲ賞勲局ヘ還納スヘシ

但勲記ハ還納スルノ限ニアラス

○閣令第九號(官報三月二十二日)

勲章還納手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十二年三月二十一日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆

勲章還納手續

第一條 同種上級ノ勲章ヲ授與セラレタル者ハ一週間以内ニ其下級ノ勲章ヲ賞勲局ヘ還納スヘシ

第二條 同種上級ノ勲章ヲ賞勲局ノ送達ニヨリ受領シタル者ハ直ニ其領票ト共ニ下級ノ勲章ヲ同局ヘ差出スヘシ

官廳ヲ經テ受領シタル者ハ其官廳ヘ差出シ官廳ハ之ヲ賞勲局ヘ送付スヘシ
第三條 外國人ノ勲等進叙シ同種上級勲章ヲ受ケタル者ハ亦此手續ニ從ヒ下

十
級ノ勲章ヲ還納スヘシ其外國ニ在ル者ハ最寄我公使館又ハ領事館ヘ差出ス
ヘシ

第四條 公使館又ハ領事館ニ於テ前條勲章ヲ領收シタルトキハ外務省ヘ送付

シ同省ハ之ヲ賞勲局ヘ送付スヘシ

第五條 勲章還納ニ關スル費用ハ受章者ノ自辨トス又官廳ヨリ賞勲局ヘ送付
スルモノハ其官廳ニ於テ支辨スヘシ

附則

一從前同種勲章ニ進叙シタル者ハ東京ハ二週間以内各地方ハ三十日以内ニ下
級ノ勲章ヲ還納スヘシ我國在留ノ外國人亦同シ其外國ニ在ル者ハ手續第五
條ニ依ルヘシ

但進級者既ニ死亡シタルトキハ本文ノ限りニアラス

○明治十六年六月二十九日第二十二號布告

勲章ヲ有スル者其榮譽ヲ汚辱スルノ所爲アル時ハ勲章及年金ヲ褫奪ス外國勲
章ハ其佩用免許狀ヲ沒收ス

勲章ヲ有スル者重罪輕罪ノ訴ヲ受ケ拘留若クハ保釋責付セラレタル時ハ勲章
ヲ佩用スルコトヲ得ス又之ニ屬スル禮遇特權及年金ヲ受ルコトヲ得ス

條ニ依ルヘシ
但進級者既ニ死亡シタルトキハ本文ノ限りニアラス

○明治十六年六月二十九日第二十二號布告
勲章ヲ有スル者其榮譽ヲ汚辱スルノ所爲アル時ハ勲章及年金ヲ褫奪ス外國勲章ハ其佩用免許狀ヲ沒收ス
勲章ヲ有スル者重罪輕罪ノ訴ヲ受ケ拘留若クハ保釋責付セラレタル時ハ勲章ヲ佩用スルコトヲ得ス又之ニ屬スル禮遇特權及年金ヲ受ルコトヲ得ス

履歷書ハ勲記功
記受領ノ後差出
スモ妨ケナシ

敘勲者履歷届出心得

第一條 功級又ハ勲等ニ叙セラレタル者ハ初叙ハ出身以來既ニ勲等ヲ有スルモノハ前叙以來第二條雛形ニ照準シ履歷書相認メ用紙二週間以内往復日數ヲ除クニ之ヲ賞勳局へ届出ヘシ

第二條 履歷書雛形

旭日章又ハ瑞寶章勲記第何號
功記第何號
年金證第何號

本貫族籍元本貫元族籍元氏名

官位 勲功爵氏名

年號月日某國郡町村ニ於テ生

年號月日

一 任 某官 或ハ某職被仰付
某職申付

但達書全文ヲ書載スヘシ以下倣之

一 免 本官 或ハ某職被差免
某職被免

一 叙 某位

一 外國御用出張 復命ノ時ヲモ書載スヘシ

一 從軍經歷

一 賞典

一 責罰

第三條

届出後左ノ事項有之節ハ二週間以内ニ賞勳局へ届出ヘシ

用紙
美濃紙

一 官等ノ任轉免位階ノ叙奪其他黜陟有之節

一 從軍經歷

一 賞典及責罰ヲ受タル節

一 公服用ニ拘ハラス外國行及歸朝ノ節

一 本貫族籍轉換ノ節

一 氏名變改ノ節

一 死亡ノ節

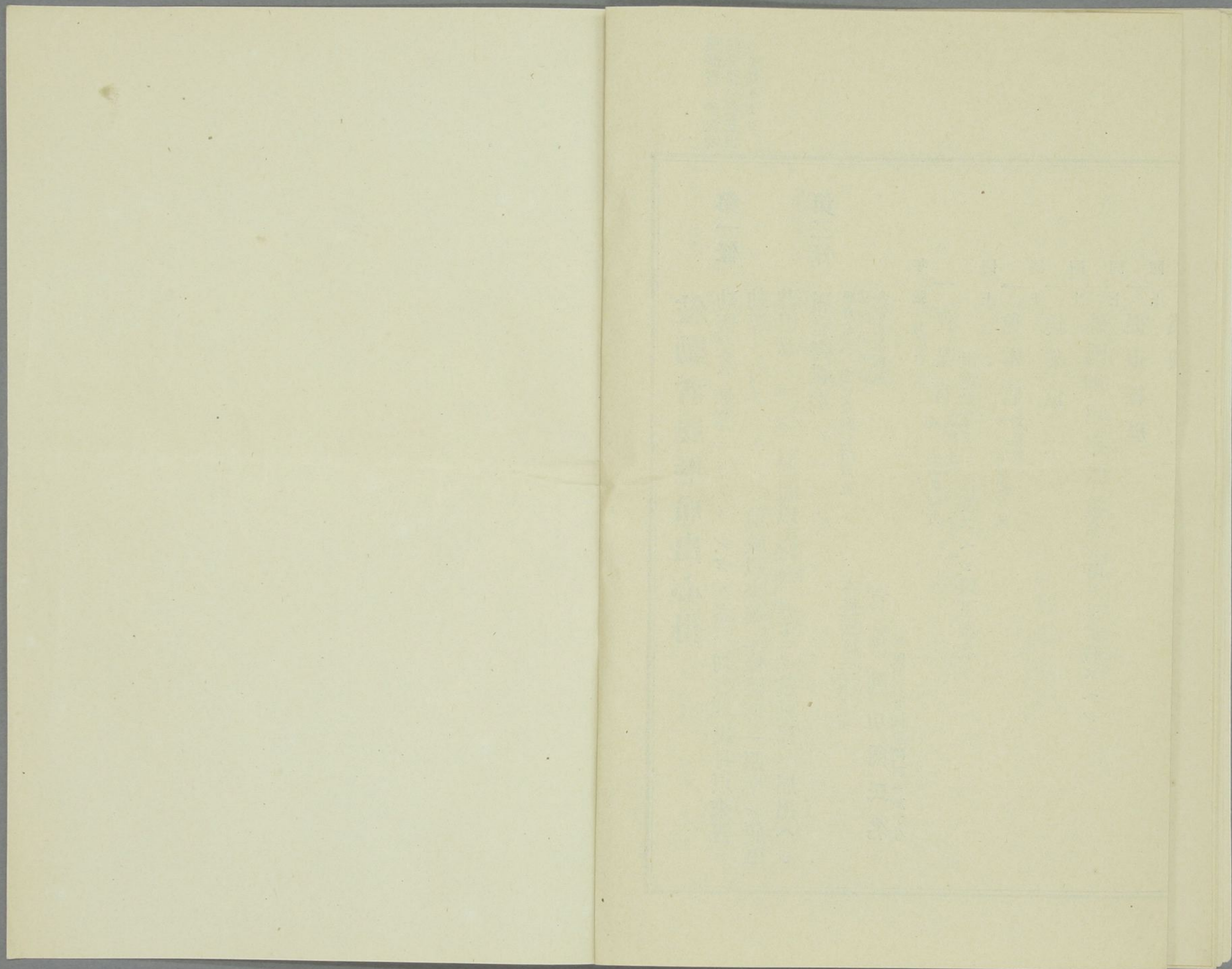
但遺族又ハ親戚ヨリ届出ヘシ

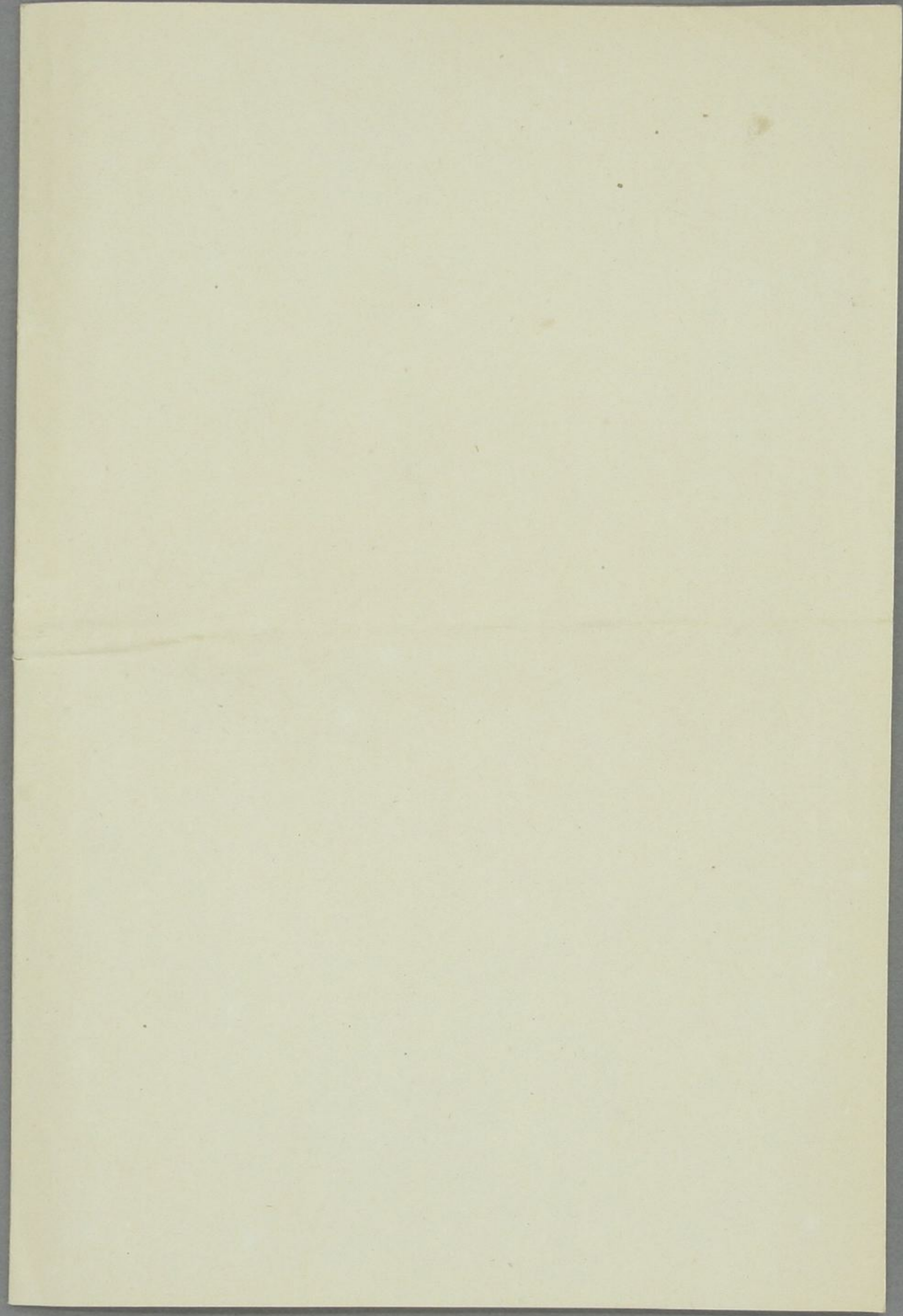
第四條

總テ帶勲者ノ届書ニハ現有ノ勲記旭日章又ハ瑞寶章ノ區別ヲ要ス 功記又ハ年金證ノ番號ヲ氏名ノ上ニ記入スヘシ

明治二十八年七月

賞勳局





勤章佩用心得

特 別
114
D 53

